

# 市政に対する一般質問一覧表

平成26年第4回定例会

質問順位 1

議席番号 10番

氏名 春日 洋子

質問方式 一問一答 質問時間 15分

質問事件	質問の要旨
1. 行政問題	<p>社会保障・税番号制度について</p> <p>① 国は、国民生活を支える社会的基盤として、この制度を導入するとしていますが、マイナンバー制度への本市の取り組みを伺いたい。</p> <p>② 市民の利便性の向上に資する市独自の事務・サービスについても個人番号を利用できるとされていることから、その活用についての見解を伺いたい。</p>
2. 福祉問題	<p>児童虐待防止について</p> <p>児童虐待を防ぐためには、妊娠から出産、育児期まで切れ目なく相談しやすい体制の構築が必要とされていることから、本市の児童虐待の実態についてと、支援体制について、伺いたい。</p>
3. 保健問題	<p>不妊・不育症施策について</p> <p>不妊症に比べて社会的な認知度が低いものの、多くの女性が苦しんでいるといわれる不育症は、全国におよそ140万人の患者がいると推定されています。</p> <p>① 不妊・不育症の相談体制について、県の事業内容と市の対応を伺いたい。</p> <p>② 本市において、不育症への治療費の助成事業導入について、その見解を伺いたい。</p>

質問事件	質問の要旨
1. 政治姿勢について	三沢市の基本理念である「人とまち みんなで創る 国際文化都市」の実現のため、これからも困難な行政課題に果敢に立ち向かい、経験と実績を持ったリーダーとして、来年6月に予定されている三沢市長選挙への3選目の出馬を切望するものであり、その所信を伺いたい。
2. 交通問題	札幌丘珠線について ① 平成25年7月1日の新規開設からの搭乗率の推移について伺いたい。 ② 函館経由便と札幌直行便との関連、相乗効果があるのか伺いたい。 ③ 今般、北海道エアシステムの筆頭株主がJALになった。このことは、今後の三沢便にどのような影響を及ぼすと予測しているか伺いたい。
3. 国際交流問題	姉妹都市交流の拡大について ① ウェナッチバレー大学への留学支援について伺いたい。 ② 姉妹都市交流を活用してのグローバル人材の育成について伺いたい。

質問事件	質問の要旨
<p><b>1. 行政問題</b></p>	<p>1. 地域コミュニティ協議会の設置について</p> <p>町内会の加入率が減少する中、「市民と行政のパートナーシップの確立」並びに「住民が地域の課題を解決する地域力の向上」が懸念されております。</p> <p>これまでも様々な視点で、町内会の活性化について取り組んできたところではありますが、十分な効果が上がっていないのではないのでしょうか。</p> <p>そうした中、学校区単位で学校を拠点に、PTAはじめ各種団体や個人の活動をつなぎ、新たな地域コミュニティの活性化を促す組織として、地域コミュニティ協議会の設置が全国で実績を上げてきています。そこで、以下の2点について伺います。</p> <p>① 町内会の加入率の推移（過去3年間）について伺いたい。</p> <p>② 地域コミュニティ協議会の設置についてのご見解を伺いたい。</p> <p>2. 三沢市「出前講座」について</p> <p>三沢市の基本理念である、市民が主体となった「みんなで創る」にぎわいのあるまちづくりを目指す中、一人でも多くの市民が自発的に参加し、充実した活動を行える情報発信が求められて来ております。</p> <p>市民の希望に応じて市職員が出向き、市民の知りたいことや聞きたいことを説明する「出前講座」の現状と今後の対応について伺います。</p> <p>① 出前講座の利用状況について（過去5年間）。</p> <p>② 現状を踏まえ、今後の「出前講座」のあり方について。</p>
<p><b>2. 教育問題</b></p>	<p>「生涯学習のまちづくり推進計画」の策定について</p> <p>全国的に生涯学習のまちづくりの重要性が再認識され、各地で様々な取り組みがなされてきておりますが、地域社会における世代構成の変化、特に子どもの数の減少は地域コミュニティそのものが無くなるのではないかと危惧されております。</p> <p>そこで、地域コミュニティの基盤となる、学びと社会参加を通じた人材育成を目的に、生涯学習におけるまちづくり推進計画の策定に着手すべきと考えますが、当局のご見解を伺います。</p>

質問事件	質問の要旨
1. 行政問題	<p>1. 少子高齢社会への取り組みについて 人口減と高齢社会の本格到来は、税収の減や医療と介護費用の急増など予想され、経済や産業をはじめ暮らしの構造変化を招きます。社会の変化に適合できなければ行政と言えども生き残れない。本市の具体的な取り組みを問う。</p> <p>2. 三沢空港路線維持への取り組みについて 現在、三沢空港路線は、三沢―羽田線に加えて関西や北海道便が再開されたが、喜んでばかりではいけない。 搭乗率の維持向上に努力しなければ運休等も考えられるが、路線の維持への効果的な取り組みを問う。</p> <p>3. 中心街復興への取り組みについて 中心商店街の衰退が止まらない。取り組んできている中心地活性化も大きな成果も上がっていない。住民の核となる中心街をどう息を吹き返させるか問われている。商工団体等の連携を図り、中心街復興を目指すべきである。今後の取り組みを問う。</p>

質問事件	質問の要旨
1. 教育問題について	<p>三沢市内の不登校児童生徒数が</p> <p>23年度 小学生 9名 出現率0.34% (県/0.26%・全国/0.33%)  中学生 52名 出現率3.61% (県/2.69%・全国/2.64%)</p> <p>24年度 小学生 8名 出現率0.31% (県/0.26%・全国/0.31%)  中学生 50名 出現率3.59% (県/2.64%・全国/2.56%)</p> <p>25年度 小学生 12名 出現率0.48% (県/0.29%・全国/0.36%)  中学生 45名 出現率3.44% (県/2.56%・全国/2.70%)</p> <p>この不登校出現率は、若干は減少しているものの、まだまだ県や全国に比べても高い数値になっているが、教育委員会としてこの状況を踏まえて、どのように対応・対策を講じてきたのか。また、今後特に中学生は高い出現率になっているが、不登校児童生徒を減らす為に、本年度の状況も踏まえて、どのように対応していくのかお伺いします。</p>
2. 健康福祉問題について	<p>子育て支援の拠点施設として、三沢市では「子ども館整備事業(仮称)」として平成26年度一般会計補正予算で基本設計業務委託料4,656,000円を計上しています。</p> <p>その当時の説明では、屋内プレイルームを含め、建築面積で約800㎡ということでしたが、当市の未来を担う子どもたちが明るく健やかに成長する環境や、子育て支援の拠点施設としては規模が小さいと考えるが充実した子育ての総合的支援をする為に、規模を拡張する考えがないのかお伺いします。</p>

質問事件	質問の要旨
1. 基地問題について	<p>1. 今回のグローバルホーク一時展開とF A 1 8戦闘機の訓練移転による運用実態、また、それらに起因する被害状況を伺う。</p> <p>2. 三沢市独自の航空機の騒音測定器設置状況について 三沢市民にとっては、訓練の増加に伴い、これまで以上に騒音被害に晒されている。当市が独自に行うとする騒音測定は具体的にどのような対処し、騒音対策に繋げていくのかを伺う。</p>
2. 教育問題について	<p>1. 利用者が最も多いと言われている日本学生支援機構によると、奨学金利用者が年々増加しているとのこと。しかしながら、リーマンショック後の長引く不況や、若者の不安定雇用形態の影響から、「奨学金返済苦問題」が社会問題化している。そこで、当市の奨学金制度における次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 制度内容について。</li> <li>② 応募者数と決定者数について。</li> <li>③ 滞納者数とそれに対する返済猶予などの救済策について。</li> </ul> <p>2. 給付型奨学金制度の導入について 八戸市では、来年度から返済不要の給付型奨学金制度を導入すること。当市でも、給付型奨学金制度を導入し、人材不足とされる職種の確保、例えば医師や保健師、看護師、介護職員等の人材育成と確保に繋げてはどうか。</p>
3. 観光政策について	<p>転入者向けの街歩きツアーの企画について 当市は、年間2千人もの転入者があるとのことだが、転入者の方々に、三沢市の様々な施設や生活情報の提供、三沢市の魅力ある観光資源を堪能して頂けるよう、転入者向けの街歩きツアーを企画してはどうか。当市の考えを伺う。</p>

質問事件	質問の要旨
1. 町内会の集会所について	<p>市長は、協働のまちづくりを標榜しています。このためには、地区ごとに市民が集う集会所が必要だと考えます。集会所は、他市に比べて充実していると思いますが、地域で集会所を持たない町内会もあります。その一方で、市内には、空き家等も目立ってきています。この空き家を集会所施設として、町内会が借り上げ、その際に、市が何らかの支援をする仕組みを作ったらどうか。</p> <p>① 集会施設の現状について。 ② 単独で集会所を持たない小さな集会施設を支援する仕組みについて。</p>
2. 高齢者の「食育」の推進について	<p>高齢者の方々が、生活の質を維持しつつ、健康的な生活を送るためには、「栄養のあるものを食べること」、「安全な食べものを食べること」、そして「美味しいと感じるご飯を食べること」は、とても大事なことです。医療や介護を必要とする高齢者を減らしていくことは、非常に重要なことです。「日本人の食事摂取基準」の概要の中でも、「高齢者の低栄養の予防の重要性」が、指摘されています。</p> <p>① 高齢者の健康寿命を延ばす観点から、身体機能の低下につながると思われる低栄養について、どのように認識しておられるのか。 ② 本市の高齢者の食育推進の取り組みについて。</p>